

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 50 号 2026 年 3 月

九州支部ウェブサイト

<https://www.jsac.or.jp/~jsac/kyushu/index.htm>

新旧支部長からのごあいさつ

支部長就任のご挨拶

井倉則之先生（九州大学）の後任として、2026 年度九州支部長を拝命いたしました、福岡大学薬学部の吉田秀幸と申します。日本分析化学会九州支部のさらなる発展に微力ながら尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

就任の挨拶で恐縮ですが、まず重要なお知らせを申し上げます。2026 年度より、学会員の年会費が改定されます。改定後の会費は以下の通りです。

- ・ 正会員：9,000 円 → 11,000 円
- ・ 学生会員：4,500 円 → 5,500 円
- ・ 維持会員：79,800 円 → 100,000 円
- ・ 特別会員：30,000 円 → 40,000 円
- ・ 公益会員：28,800 円 → 36,000 円
- ・ シニア会員：平均 27%の値上げ（年齢により額が異なる）

詳細は学会ホームページやメールマガジンでもご確認いただけますが、今回の改定は、学会運営に必要な諸経費の高騰や広告収入の減少など、財政状況の厳しさを背景としています。40 年以上据え置かれていた会費の見直しとなりますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、今回の改定に伴い、学会本部から支部への配分額は大幅に増額されます（九州支部の場合、2025 年度比で約 38%増）。この支部費を有効に活用し、学会活動の円滑な運営と、会員の皆様への還元をさらに充実させてまいります。その一環として、九州分析化学若手の会への分配金を増額し、講演会や夏季セミナーを通じて若手研究者の育成に注力します。加えて、支部の活性化や新規会員獲得につながる施策についても検討してまいりますので、ぜひ皆様からのご意見を支部執行部へお寄せください。

2026 年度の主要な活動として、第 39 回若手研究講演会および第 44 回夏季セミナーは、江藤真由美先生（大分大学）を世話人として企画いただいております。また、第 63 回化学関連支部合同九州大会、第 64 回分析化学講習会、機器分析ワークショップなど、多くの支部活動を予定しております。会員や学生の皆様はもちろん、分析化学に関心をお持ちの方々にも積極的にご参加いただけることを期待しております。

さらに、今年 5 月には第 86 回分析化学討論会が福岡県久留米市で開催されます。実行委員長の高椋利幸先生（佐賀大学）と 4 名の副実行委員長の先生方を中心に、九州支部内外の多くの方々準備を進めてくださっています。執行部も一丸となって運営に協力しますので、支部の力を全国に示すべく、会員の皆様にもぜひお力添えをお願い申し上げます。

最後に、2026 年度の支部執行部をご紹介します。副支部長には梅木辰也先生（佐賀大学）と能登征美様（九電産業（株）環境部）、庶務幹事には高田誠先生（福岡大学）、会計幹事には古賀鈴依子先生（福岡大学）にご就任いただきます。皆様とともに、九州支部の活動がより一層活性化するよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（福岡大学 吉田秀幸）



支部長退任のご挨拶

九州支部の皆様、2025 年度支部長を仰せつかっておりました、九州大学の井倉でございます。前任の加地先生から引き継ぎ、どうにか任期の一年を終えることができました。九州支部の運営については、以前庶務幹事を 2 回行った経験から、「なんとかなるのでは？」と少し楽観視していたところがありました。しかし、実際に支部長という責任ある立場に立つと少し要領が違っていました。いろいろと手際が悪く、執行部の先生方にはご迷惑をおかけしました。庶務幹事の椿先生、会計幹事の矢代さん、副支部長の児玉谷先生と廣沢先生、監事の井上先生、加地先生にはそのような私を支えていただき誠に感謝しています。特に庶務幹事の椿先生にはかなり頑張ってもらいました。本年度は当たり年で、化学関連支部合同九州大会の責任支部となり、その世話人である椿先生から cc で送られてくるメールが 4 月から 7 月にかけて連日相当な数に登りました。椿先生には頭があがりません。当たり年といえば、2026 年 5 月 30 日、31 日に高椋利幸先生を実行委員長として第 86 回分析化学討論会が久留米シティプラザで開催されます。多くの先生には実行委員として会の運営に携わっていただいておりますが、他の先生におかれましても（すでに講演申込は終了しておりますが）、多数の参加をお待ちしております。



例年行事としては石井千晴先生を実行委員長として、7 月 25、26 日に第 38 回若手研究講演会および第 43 回夏季セミナーが九州大学馬出キャンパスで行われました。また 10 月 31 日には幹事会および講演会を九州シンクロトン光研究センターで行いました。講演会では井上高教先生による九州分析化学会賞「高感度・高機能化を目指したレーザー分光分析法の開発」の受賞講演を行っていただきました。井上先生、誠におめでとうございます。

今回支部長を引き受ける際の申し送り事項として、現在の支部長任期 1 年という期間を 2 年に変更してはという議題がありました。私が所属している他の学会は基本的に 2 年間に任期としているところがほとんどです。私も当初、2 年に任期が変わることを視野に入れていました。しかし、他の先生方と本件について話をしていく内に考えが変わってきました。九州支部で積極的に活動されている先生方を思い浮かべると、この数年で教授あるいは准教授へと昇任された先生方が多くおられたのです。これは活躍されている先生、一人でも多く支部長をしていただき、九州分析化学会賞さらには日本分析化学会学会賞を一人でも多く目指してもらった方が良いのではないかと考えました。今年度は九州支部から奨励賞に九大薬の石井先生、女性 Analyst 賞に九大 I²CNER の高橋先生が受賞されるなど 4 件の受賞がございました。今後も九州支部の先生方の益々のご活躍が期待されます。

「とびら」でも書きましたが、本会は広い分野の先生方が集まっています。それぞれの分野の知識を融合することで学際的な研究を生み出す素地がある分野です。是非、若い研究者や学生諸氏も九州支部の運営に積極的に参加していただき、幅広い知識と視野を養い今後の研究者生活を満喫してもらいたいと思います。

(九州大学 井倉則之)

支部活動報告

・第1回常任幹事会・

2025年6月24日(火)に第1回常任幹事会がオンラインの形式で開催されました。議事録は九州支部ウェブサイトに掲載予定です。

・2025年度 日本分析化学会表彰・

2025年度の日本分析化学会の表彰者として、九州支部より、技術功績賞に辻田 明 氏(福岡県警察本部科学捜査研究所・専門研究員)が「血液中の微量無機ガス等の定量分析に関する研究」業績で、奨励賞に、石井 千晴 氏(九州大学大学院薬学研究院・助教)が「生体・食品に存在するキラルアミノ酸の高選択的分析法開発」の業績で、女性 Analyst 賞に高橋 幸奈 氏(九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所・准教授)が、「高性能センシングデバイスを指向したプラズマモニクナノ粒子-光機能性材料複合系の開発」の業績で、「分析化学」論文賞として、石井 千晴 氏、浜瀬 健司 氏らの研究グループが、「メートル長高分離能光学分割カラムを用いる食酢中アラニン及びセリン鏡像異性体の分析」にて選ばれました。皆様、誠にありがとうございます。

・2025年度 九州分析化学学会賞および奨励賞・

2025年度九州分析化学学会賞および奨励賞の受賞者は、選考委員会による審査の結果、以下の3名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の方には今後の発展と共に、分析化学会および支部活動への貢献を期待いたします。また、次年度も会員の皆さまからの本学会賞および奨励賞への積極的な応募をお願いいたします。

1. 九州分析化学学会賞

井上 高教(大分大学理工学部 教授)
「高感度・高機能化を目指したレーザー分光分析法の開発」

2. 九州分析化学奨励賞

○佐々木 魁斗(佐賀大学大学院理工学研究科)
「機能性イオン液体を用いた遷移金属イオンの抽出」

○劉 卓非(九州大学大学院生物資源環境科学府)
「グラファイトナノ材料支援 LDI-MS 法の確立と食品成分分析への応用に関する研究」

・第62回 化学関連支部合同九州大会・

共催:(公社)日本分析化学会九州支部ほか
7化学関連支部
会期:2025年7月5日(土)
会場:北九州国際会議場

分析化学関係の依頼講演:

馬渡 和真 先生(早稲田大学)

「マイクロ・ナノ流体デバイスによる分析場のサイズ極限の探求」

分析化学関係のポスター発表(38件)の詳細については下記の学会サイトをご参照ください。

<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>

九州分析化学ポスター賞受賞者

AC-6-0002:吉嗣 大輝(九大院工)

AC-6-0009:塩見 慎太郎(九工大院情報工)

AC-6-0020:古賀 柚葵(九大院生資環)

AC-6-0038:高木 健吾(熊大院先端)

・九州分析化学若手の会 第38回 若手研究講演会および第43回 夏季セミナー・

主催:九州分析化学若手の会・日本分析化学会九州支部
会期:2025年7月25日(金)~7月26日(土)
会場:九州大学 馬出キャンパス コラボステーション 1・2(福岡県福岡市)
内容:分析化学に関する若手研究者間の勉強会・講演会

○招待講演(3件)

○九州分析化学奨励賞授賞式・受賞講演(2件)

○九州分析化学ポスター賞受賞者模範ポスター発表(3件)

○一般ポスター発表(44件)

第38回若手研究講演会および第43回夏季セミナーを2025年7月25日から26日の2日間にわたり開催した。今年は講演会と宿泊を切り離れた開催方針とし、96名（学生70名、教員・社会人26名）の参加者を迎え、2日間の様々な行事を通じて活発な交流を行った。

1日目は、開会式後、模範ポスター発表を行った。座長の進行のもと、第62回化学関連支部合同九州大会での九州分析化学ポスター賞受賞者3名が、一般ポスター発表の手本となるような発表を行った。各発表者の前には多くの学生および教員が集まり、活発な議論が行われた。続いて一般ポスター発表44件の発表を行い、教員や学生が入り交じって活発に討議が繰り広げられた。発表終了後に、参加者全員による投票を行い、7件の九州分析化学若手賞を選定した。その後、1件目の招待講演として、東北大病院薬剤部・東北大学大学院薬学研究科の前川正充先生に「LC-MS/MS を活用した検査診断法開発ならびに病態分子機構解析」というタイトルでご講演いただいた。2件目として、九州大学大学院工学研究院の伊藤 茜先生に「ICP 質量分析を用いたクロムの化学種および同位体比からみる地球化学的プロセス」というタイトルでご講演いただいた。いずれの講演も、分析法の基礎的なことから実用例まで幅広い内容で大変興味深く、参加学生からの活発な質疑が後を絶たなかった。

2日目は、九州分析化学奨励賞の授賞式と第62回化学関連支部合同九州大会における九州分析化学ポスター賞（4名のうち1名は欠席）の授賞式を執り行った。授賞式では、支部長の井倉則之先生（九州大学）から受賞者への賞状授与、並びに受賞者への祝辞と激励のお言葉をいただいた。九州分析化学奨励賞受賞者による受賞講演はいずれも完成度が高く、活発な質疑が行われた。また、セナーアンドバーンズ株式会社の黒木祥文様に「超純水の最大の汚染原因はあなた」というタイトルで、分析に不可欠な超純水の汚染原因と対策について興味深い特別講演をしていただいた。講演終了後、九州分析化学若手の会の総会を開催し、若手の会に関連した各種活動報告や会計報告を行なった後、夏季セミナーの授賞式（九州分析化学若手賞7件、九州分析化学活性化賞3件）を行なった。閉会式では支部長の井倉先生から総評をいただき、次年度の実行委員長である江藤真由美先生（大分大学）より次回夏季セミナーの案内が行われた。最後に全員で記念写真撮影を行い、本年度の夏季セミナーを終了した。

○特別講演（1件）

黒木 祥文 様（セナーアンドバーンズ株式会社）
「超純水の最大の汚染原因はあなた」

○招待講演（2件）

前川 正充 先生（東北大病院薬剤部／東北大院薬）
「LC-MS/MS を活用した検査診断法開発ならびに病態分子機構解析」

伊藤 茜 先生（九大院工）

「ICP 質量分析を用いたクロムの科学種および同位体比からみる地球化学的プロセス」

○九州分析化学奨励賞受賞講演（2件）

佐々木 魁斗（佐賀大院理工）

「機能性イオン液体を用いた遷移金属イオンの抽出」

劉 卓非（九大院生資環）

「Study on the establishment of graphite nanomaterial-assisted LDI-MS method and its application for the food analysis」

○九州分析化学ポスター賞模範ポスター発表（3件）

塩見慎太郎（九工大院情報工）

「二種類の蛍光色素を導入したビオチンリガーゼによるタンパク質ラベル化系の開発」

古賀 柚葵（九大院生資環）

「グラファイトカーボンブラックをイオン化支援材として用いたバナナ（*Musa spp.*）組織中の低分子化合物の可視化」

吉嗣 大輝（九大院工）

「フォトクロミックセンサーへの応用に向けた銀ナノ粒子/ニッケル化合物複合膜の検討」

○九州分析化学若手賞（7名）

岡本 凜奈（九大院生資環）

「アミン誘導体化-分子イオンモビリティ法による低分子ペプチドの高感度 LC-MS 分析」

大迫 万綸（福岡大薬）

「三次元 HPLC を用いたニホンミツバチハチミツにおける疎水性アミノ酸のキラル識別含量解析」

村田 彩奈（九工大院工）

「Catalytic Hairpin Assembly を用いた電気化学的 miRNA 検出法の開発」

古賀 朗寛（九大院シス生）

「ヒト直交性酵素」にตอบสนองして細胞を染色する共有結合型基質の開発」

森 萌音（熊大院先端）

「細胞膜表面タンパク質を標的とした腫瘍細胞のシグナル増幅型検出」

何 甦恩（九大院理）

「LC/CE-LIF-MS 多次元分析に基づく N 結合型糖鎖の超高感度プロファイリング」

久保 和希（九大院薬）

「グルタミン酸鏡像異性体の迅速三次元 HPLC 分析法開発と哺乳類精巢における含量解析」

○九州分析化学活性化賞（3名）

古賀 朗寛（九大院シス生）

平川 琉偉（九大院シス生）

伊東 玲菜（九大院生資環）



実行委員長：石井 千晴（九州大学大学院薬学研究院）

・第63回 分析化学講習会・

主催：日本分析化学会九州支部

共催：福岡市、九州大学先端科学技術研究所（ISIT）、九州大学学術研究都市推進機構、日本化学会九州支部、電気化学会九州支部、日本薬学会九州支部、本食品科学工学会西日本支部、日本農芸化学会西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、日本臨床化学会九州支部、日本水環境学会九州支部、化学工学会九州支部事務局、福岡県環境計量証明事業協会

会期：2025年7月29日～8月22日

会場：九州大学伊都キャンパス（〒819-0395 福岡市西区元岡 744）、九州大学馬出キャンパス（〒812-8582 福岡市東区馬出 3 丁目 1-1）、福岡大学理学部（〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1）、福岡市産学連携交流センター（〒819-0388 福岡市西区九大新町 4-1）

各講習の詳細：

1. ガスクロマトグラフィー GC

実施日：8月7日および8日

参加者数：延べ36名

会場：九州大学伊都キャンパス

講師：白土 英樹（熊本県立大環境）

井倉 則之（九大院農）

内容：A. 化合物の同定（保持指標，マススペクトル） B. 定量分析（内標準法） C. 試料導入法（スプリット法，スプリットレス法） D. 香気成分のサンプリング（固相マイクロ抽出法） E. 食品の香気成分分析（GC-MS法）

2. 高速液体クロマトグラフィー LC

実施日：8月5～6日（2日間）

参加者数：32名

会場：九州大学馬出キャンパス

講師：浜瀬 健司（九大院薬）

巴山 忠（福岡大薬）

内容：A. 逆相 HPLC の基礎実習と実試料分析（医薬品・化粧品分析） B. HPLC 機器の内部構造とメンテナンス C. HPLC 用超純水製造装置 D. 超高速全自動プレカラム誘導体化アミノ酸分析 E. AI 支援による自動 HPLC メソッド開発システムの紹介 F. 逆相モード，HILIC モードを用いた低分子化合物の分離～汎用から最新の高速分析カラムまでのカラム選択～ G. 極性化合物分析へのアプローチ H. イオンクロマトグラフィーによる水、大気などの環境分析ならびに各種品質評価 I. 卓上小型 MS 検出 ACQUITY QDa を用いる新感覚 LC-MS 分析 J. 円二色性検出器を用いたキラル分離

3. 誘導結合プラズマ質量分析法 ICP-MS

実施日：8月7日および8日

参加者数：延べ18名

会場：九州大学伊都キャンパス

講師：天日 美薫（九環協）

内容：A. 無機分析に関する基礎 B. 固相抽出法等による前処理 C. マイクロピペッターの精度管理とメンテナンス D. ICP-MS 法による金属分析及びメンテナンス

4. エックス線分析 X-ray

実施日：8月22日

参加者数：10名

会場：福岡大学理学部

講師：栗崎 敏、市川 慎太郎（福岡大理）

内容：X 線分析（回折，蛍光 X 線分析）の基礎に関する講義と測定及びデータの解析

5. 電子顕微鏡分析 SEM/TEM

実施日：参加者数：5名）

8月9日 福岡市産学連携交流センター

講師：宇都 宮聡（九大院理）

内容：電子顕微鏡分析（SEM/TEM）の基礎に関する講義と SEM/TEM による試料観察

6. 核磁気共鳴分光法 NMR

実施日：8月7日

参加者数：2名

会場：福岡市産学連携交流センター

講師：松森 信明（九大院理）

内容：A. NMR の基礎と溶液 NMR の測定法 B. 有機物質の構造解析

7. 分光分析法 Raman

実施日：8月5日

参加者数：6名

会場：福岡市産学連携交流センター

講師：井上 高教（大分大理工）

河済 博文（九州先端科学技術研究所）

内容：A. 吸収法の基礎と測定法， B. 蛍光法の基礎と測定法， C. ラマン分光法の基礎と応用

8. ランチョンセミナー

実施日：8月5日および6日 12:00～13:00

会場：LC会場、メルク提供

使用機器：日立ハイテクノサイエンス、サーモフィッシャーサイエンティフィック（ジェイ・サイエンス西日本）、東ソー、島津製作所、日本分光、日本ウォーターズ、ジーエルサイエンス、エムエス機器、大阪ソーダ、メルク、オルガノの提供による最新機器



受賞講演の様子

○講演会

廣沢 一郎 先生（九州シンクロトロン光研究センター所長）

「SAGA-LS ご利用のすすめ」

3. 見学会

九州シンクロトロン光研究センターの見学会を実施しました。

・2025年度 幹事会・授賞講演・講演会・見学会・

会期：10月31日(金) 12:45～

会場：佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター

1. 幹事会が対面形式で開催されました。議事録は九州支部ウェブサイトに掲載予定です。

2. 九州分析化学会賞授賞式・授賞講演・講演会

○受賞講演

井上 高教 先生（大分大学理工学部）

「高感度・高機能化を目指したレーザー分光分析法の開発」



授賞式

井上高教先生（右）、井倉支部長（左）



見学会の様子

・第2回常任幹事会・

2026年2月21日(土)に第2回常任幹事会がオンラインの形式で開催されました。議事録は九州支部ウェブサイトに掲載予定です。

本部関連

・第86回分析化学討論会・

会期：2026年5月30（土）～5月31日（日）

会場：久留米シティプラザ

（久留米市六ツ門町 8-1）

実行委員長：高椋 利幸（佐賀大学 理工学部 化学部門）

主題討論：

1. 生体膜と分析化学
2. 医療・健康に貢献する薬系分析の役割と展望
3. 分析化学を通じた溶液化学と熱測定との融合
4. バイオ×分析化学：現象の可視化と社会実装の架け橋
5. 食品のおいしさと分析化学：おいしさの可視化を目指して
6. オンサイト分析で探る環境科学

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jsac86touron>

・2026年度九州支部からの本部役員・

○理事（1名）

井上 高教（大分大理工）

○代議員（9名）

恩田 健（九大院理）

梅木 辰也（佐賀大理工）

森 健（九大院工）

井倉 則之（九大院農）

岸川 直哉（長崎大薬）

巴山 忠（福岡大薬）

神崎 亮（鹿児島大理工）

江藤 真由美（大分大理工）

澤津橋 徹哉（三菱重工）

○編集委員

ぶんせき：岸川 直哉（長崎大薬）

分析化学：北村 裕介（熊本大先端科学）

Analytical Sciences：梅木 辰也（佐賀大理工）

今後の支部活動計画

・九州分析化学若手の会 第39回 若手研究講演会および第44回 夏季セミナー・

主催：九州分析化学若手の会・日本分析化学会九州支部

会期：2026年7月24日（金）～25日（土）

会場：J:COM ホルトホール大分 大会議室

〒870-0839 大分県大分市金池南1丁目5-1

予定内容：

- ・九州分析化学若手の会総会
- ・九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演
- ・依頼講演2件
- ・模範ポスター発表（九州分析化学ポスター賞）
- ・一般ポスター発表
- ・情報交換会

実行委員長：江藤 真由美（大分大理工）

実行委員：石井 千晴（九大院薬）、高田 誠（福岡大薬）、佐藤 しのぶ（九工大工）、鈴木 絢子（大分大理工）

・第63回化学関連支部合同九州大会・

会期：2026年6月27日（土）

会場：北九州国際会議場

依頼講演者：

○日本分析化学会九州支部推薦

藤井 由紀子（第一薬科大学）

「有機フッ素化合物 PFAS：曝露と生体影響」

○電気化学会九州支部推薦

奥山 勇治（宮崎大学）

「低温作動化を目指したプロトン伝導性セラミックスの開発と電気化学デバイスへの応用」

○有機合成化学協会九州・山口支部推薦

岩崎 孝紀（九州大学）

「イオン対形成による触媒機の統合戦略—ルイス酸性アニオンの開発と触媒応用」

○日本化学会九州支部推薦

福原 学（九州大学）

「近未来の予防医療に資する光機能性ソフトマテリ

アルの創製」

○化学工学会九州支部推薦

椿 俊太郎（九州大学）

「マイクロ波駆動触媒反応の合理的設計と脱炭素型資源循環プロセスへの応用」

○日本農芸化学会西日本支部推薦

上原 範久（九州大学）

「食と健康をつなぐ昆虫由来機能性成分の探索（仮）」

○繊維学会西部支部推薦

氏家 誠司（大分大学）

「未定」

○高分子学会九州支部推薦

黒岩 敬太（崇城大学）

「分子組織性を活かした生体由来両親媒性化合物によるハイブリッド材料創製」

・2026年度支部執行部・役員・

執行部

支部長：吉田 秀幸（福岡大薬）

次期支部長：大庭 義史（長崎国際大薬）

副支部長：能登 征美（九電産業株式会社）

副支部長：梅木 辰也（佐賀大理工）

監事：井倉則之（九大院農）

監事：廣沢 一郎（九州シンクロトロン研究センター）

庶務幹事：高田 誠（福岡大薬）

会計幹事：古賀 鈴依子（福岡大薬）

常任幹事：

＜九工大・福教大・九共大＞

佐藤 しのぶ（九工大工）

＜九大院理＞

松森 信明（九大院理）

＜九大院工＞

藤ヶ谷剛彦（九大院工）

＜九大院薬・第一薬大＞

浜瀬 健司（九大院薬）

＜九大院農・九産大・福女大＞

田中 充（九大院農）

<九大筑紫・近大九州工>

原田 明（九州大学総理工）

<福岡大>

栗崎 敏（福岡大理）

<佐賀>

野間 誠司（佐賀大農）

<長崎・熊本>

大庭 義史（長崎国際大薬）

<長崎・熊本>

白土 英樹（熊本県大環境）

<大分・宮崎>

大島 達也（宮崎大工）

<鹿児島・沖縄>

満塩 勝（鹿児島大理工）

<企業・官公庁>

松尾隆司（ジェイ・サイエンス西日本）

事務局より

・各賞推薦依頼および規定・

▼九州分析化学会賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として九州在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会の正会員にして、分析化学に関する研究、教育及び九州支部の運営において功績が顕著であり、九州の分析化学の発展に多大なる貢献をした者で、受賞の年の1月1日現在、原則として20年間以上引き続き本会会員であり、満65歳以下の者。

必要書類・締切：推薦者は推薦書（指定用紙）、被推薦者の業績目録、被推薦者本人による業績内容の説明文（図表等を含め A4 紙 4 枚程度、教育・支部運営について（A4 紙 1 枚程度、英文も可）の PDF ファイルを jsac_kyushu@jsac.jp（支部長・庶務幹事・会計幹事）宛てに送付。受領確認のメール通知をもって受付完了。受付期日（4月1日～4月30日）

▼九州分析化学奨励賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として、九州に在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会会員で、受賞年度の4月1日において満30歳未満の者。ただし、修士課程（博士前期課程）及び博士課程（博士後期課程）に在籍する場合には満35歳未満の者。非会員は受賞時まで日本分析化学会の入会申請をしなければならない。

必要書類・締切：推薦者は A4 紙 1 枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の論文目録、講演題目のリスト及び論文等の別刷りの一部（複数可）、さらに被推薦者本人による研究内容の説明文（A4 紙 2 枚、英文可）及び図表等（5 枚程度）の PDF ファイルを jsac_kyushu@jsac.jp（支部長・庶務幹事・会計幹事）宛てに送付。受領確認のメール通知をもって受付完了。受付期日（4月1日～4月30日）

*募集要項の詳細は支部のホームページをご覧ください。申請に必要な書類ファイルもダウンロードできます

・編集後記・

支部ニュースは本号で第 50 号となりました。支部ニュース発行回数の変更および発行日の変更に伴い支部長挨拶および退任の挨拶が紙面から無くなっていました。そこで誠に勝手ながら井倉支部長退任の挨拶および、吉田支部長就任の挨拶から再開させて頂きました。お仕事を増やしてしまうご提案にもかかわらず、快くお引き受け頂いた先生方に深謝致します。

会員の皆様には一年間のご支援に感謝いたしますと共に、次年度も日本分析化学会九州支部への一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

（副支部長 児玉谷 仁）



2025 年度日本分析化学会九州支部事務局

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 番地

九州大学大学院 農学研究院 生命機能科学部門 食品製造工学研究分野

支部長 井倉 則之（九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門）

副支部長 廣沢 一郎（九州シンクロトロン研究センター）

副支部長 児玉谷 仁（鹿児島大学大学院理工学研究科）

庶務幹事 椿 俊太郎（九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門）

会計幹事 矢代 民美子（九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門）